

平成30年度 予算のあらまし

平成 30 年 2 月



東京二十三区清掃一部事務組合

目 次

	頁
1 予算編成の基本方針	1
2 歳入歳出予算の概要	2
3 主な特色項目	4
4 施設整備事業一覧	10
5 財政調整基金と組合債の状況	11
6 ごみの流れ	12
7 特別区分担金納付額等	13

1 予算編成の基本方針

平成30年度予算は、「一般廃棄物処理基本計画」の着実な実施と、これまで培った技術力による改善案を具現化させるなどの積極的な対応により新たな課題に果敢に取り組んでいくとの観点から、以下の7つの方針に基づき編成しました。

《編成方針》

- 1 「一般廃棄物処理基本計画」の着実な達成を図る。
- 2 平成30年度予算要求における経費の見積りのうち、「経常的経費」については、原則として、前年度予算額を上限とする。
また、事業の必要性を実施時期を含めて再検討し、真に必要な経費を計上する。さらに、物価上昇の影響をしっかりと分析し、安易な歳出増とならないよう、徹底的な無駄の排除、創意工夫の発揮、そして厳しい優先順位付けを踏まえた予算とする。
事務事業の実施方法については、事業運営の合理化及び維持管理費の縮減に十分配慮する。
- 3 「臨時的経費」のうち、新規事業及び政策的レベルアップ事業については、事業の緊急性や必要性などを十分検証するとともに、既存事業の見直し（廃止）・再構築を前提に財源を捻出する。
- 4 過去の決算状況を分析し、実績を踏まえた見積りを行う。
また、全ての契約行為の予算の見積りに当たっては、直近の契約実績を反映させ、より実績に近い金額の予算とする。
- 5 職員定数については、「平成30年度組織及び職員定数について」に基づき適正化を図り、より効率的かつ効果的な執行体制を構築する。
- 6 施設の建設、改築及び改修については、仕様内容の十分な精査と社会状況の変化による影響分析を実施した上で、建設コストの縮減に努める。
また、関係部課と十分に調整し、工事の重複等がないよう留意する。
- 7 歳入の見積りについては、国庫支出金に係る国の予算編成の動向を注視し、確実に財源を確保する。また、自主財源については、最大限の増収を見込むとともに、手数料等においては、なお一層収納率向上に努める。

2 歳入歳出予算の概要

平成 30 年度の一般会計予算の総額は、719 億 4,000 万円となり、対前年度△16 億 1,500 万円、2.2%の減となりました。内訳は、3 ページの表のとおりです。

平成 30 年度予算の歳出では、清掃工場の建設等に要する経費である「施設整備費」が、対前年度△19 億 8,400 万円、10.6%の減となりました。

これは、光が丘・目黒清掃工場建替工事や有明清掃工場の延命化工事が進捗する一方、杉並清掃工場の建替工事が平成 29 年度で終了となり大きく減額となったことによるものです。

一方、清掃工場等の維持管理及び運営に要する経費である「清掃費」は、主灰のセメント原料化の規模拡大や清掃工場の更なる予防保全の取組みとして、主要プラントであるボイラ設備水管部分の広範囲に渡る取替工事や発電機の精密点検を実施する一方、工場運転に必要な光熱水費や薬剤等を精査したことにより、対前年度△2,100 万円の減となりました。

また、組合債の償還等に要する経費である「公債費」は、定時償還の進捗により、対前年度 5 億 3,700 万円、17.3%の増となりました。

次に歳入では、「特別区分担金」が 326 億 5,000 万円で、対前年度△7 億 5,000 万円、2.2%の減となりました。これは、歳出予算規模が減となったことが要因で、また、経営計画に基づく平準化を反映しています。

施設整備費に係る特定財源については、「循環型社会形成推進交付金」が対前年度△3 億 8,700 万円の減となったものの、「二酸化炭素排出抑制対策事業費交付金」が 3 億 3,400 万円の皆増、「組合債」が対前年度△41 億 3,900 万円の減となりました。

このほか、財政調整基金については、平成 29 年度補正予算において、歳入の決算見込額、歳出の不用額などを精査の上、今後の特別区分担金の平準化に繋げるため 70 億 5,700 万円を積立て、平成 30 年度末で 370 億 9,000 万円の残高見込みとなっています。

平成 30 年度の特別区分担金の区別納付額等については、13 ページに記載しています。

〈平成30年度一般会計予算〉

○ 歳入歳出予算		71,940,000	千円
○ 債務負担行為	10件	1,616,594	千円
○ 組合債	3件	4,298,000	千円

歳入歳出予算

歳入

(単位：千円、%)

区 分	30年度予算		29年度予算		比較増(△)減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
1 分担金及び負担金	32,650,000	45.4	33,400,000	45.4	△750,000	△2.2
2 使用料及び手数料	15,374,155	21.4	15,281,515	20.8	92,640	0.6
うち廃棄物処理手数料	15,365,377	21.4	15,269,124	20.8	96,253	0.6
3 国庫支出金	1,950,517	2.7	2,004,374	2.7	△53,857	△2.7
うち循環型社会形成推進交付金	1,603,968	2.2	1,990,567	2.7	△386,599	△19.4
うち二酸化炭素排出抑制対策事業費交付金	334,037	0.5	0	0.0	334,037	皆増
4 財産収入	11,078	0.0	11,531	0.0	△453	△3.9
5 寄附金	1,300	0.0	1,300	0.0	0	0.0
6 繰入金	7,300,000	10.1	4,898,000	6.7	2,402,000	49.0
7 繰越金	300,000	0.4	300,000	0.4	0	0.0
8 諸収入	10,054,950	14.0	9,221,280	12.5	833,670	9.0
9 組合債	4,298,000	6.0	8,437,000	11.5	△4,139,000	△49.1
歳入合計	71,940,000	100.0	73,555,000	100.0	△1,615,000	△2.2

歳出

(単位：千円、%)

区 分	30年度予算		29年度予算		比較増(△)減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
1 議会費	10,058	0.0	28,587	0.0	△18,529	△64.8
2 総務費	4,608,623	6.4	4,737,256	6.5	△128,633	△2.7
3 清掃費	63,369,773	88.1	65,375,322	88.9	△2,005,549	△3.1
清掃費	46,683,064	64.9	46,704,276	63.5	△21,212	△0.0
施設整備費	16,686,709	23.2	18,671,046	25.4	△1,984,337	△10.6
4 公債費	3,648,316	5.1	3,111,059	4.2	537,257	17.3
うち組合債元利償還金	3,648,292	5.1	3,111,053	4.2	537,239	17.3
5 諸支出金	3,230	0.0	2,776	0.0	454	16.4
6 予備費	300,000	0.4	300,000	0.4	0	0.0
歳出合計	71,940,000	100.0	73,555,000	100.0	△1,615,000	△2.2

3 主な特色項目

目標1 循環型社会づくりの一翼を担う清掃一組 ～循環型社会づくりに貢献する循環型ごみ処理システムを推進します～

1 循環型社会づくりの一翼を担う清掃一組

2 安全で安定的な運営を行う清掃一組

3 効率的でスリムな経営を行う清掃一組

4 23区との緊密な連携を目指す清掃一組

● 《取組項目》焼却灰の資源化

【主灰のセメント原料化】

予算額 1,508,484千円

<目的・ねらい>

最終処分量の削減を図り、循環型社会づくりを進めるため、ごみ焼却主灰をセメント原料として活用する。

<事業内容>

平成30年度は、最終処分場の埋立処分量削減を推進するため、計画を前倒して実施予定量を30,000tとする(変更前計画では20,000tを予定)。また、新たに搬入するセメント工場へのルート及び処理作業の確認並びに船舶運搬量の拡大に向けた実証確認を行う。

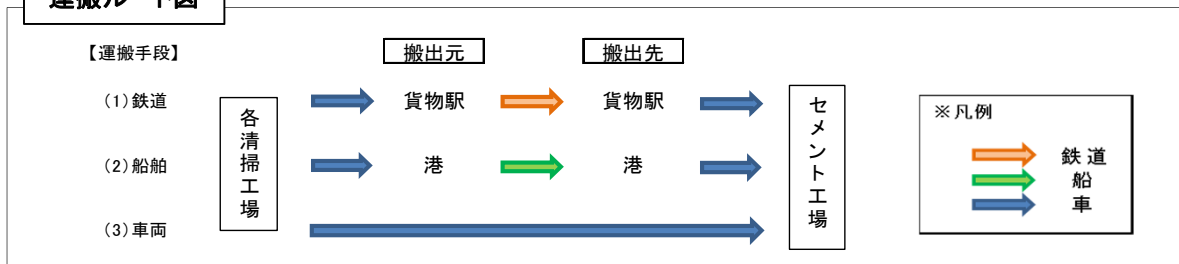
【経費内訳】

◆実施予定量: 30,000t	1,352,928千円
◆実証確認予定量: 3,150t	155,556千円



【焼却灰搬出の様子】

運搬ルート図



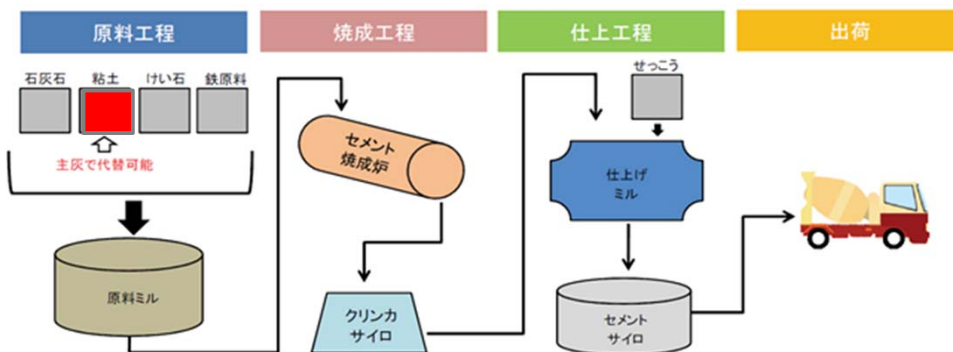
【補足解説】

①焼却灰とは

清掃工場の焼却処理によって焼却炉から排出される灰のことで、燃えがら(=主灰)とろ過式集じん器で捕集されるばいじん(=飛灰)で構成されている。

②セメント原料としての活用とは

一般的な土木建築に利用されるセメント材として最も汎用性が高く、広く利用されているのが『普通ポルトランドセメント』である。その原料としては主に石灰石、粘土、けい石、鉄原料、石こう等が使用されているが、そのうちの粘土の代替原料として主灰を使用する。



【セメントの製造工程例】

目標1 循環型社会づくりの一翼を担う清掃一組
 ～循環型社会づくりに貢献する循環型ごみ処理システムを推進します～

● 《取組項目》 清掃事業国際協力の推進

【清掃事業国際協力】

予算額 3,436千円

① 事業化調査協力(FS)

＜目的・ねらい＞

インド・テランガナ州において、廃棄物焼却施設建設に向けた環境省のFS調査(事業化可能性調査)へ協力する。

＜事業内容＞

- ・現地政府とのワークショップ出席
- ・現地関係者への講演会の参加
- ・ごみ性状調査の指導
- ・建設候補地視察 など

【事業スケジュール】

対象地域:インド・テランガナ州
 派遣予定:平成30年7月・12月
 経費:1,707千円

事業化調査協力金収入:1,707千円

② 包括的協力プログラム

＜目的・ねらい＞

日本の民間企業によるインドネシアへの廃棄物発電施設の導入(建設及び運営)のため、環境省、経済産業省、自治体及び民間企業等による包括的な体制で実施されるプログラムに参加し、インドネシア等途上国を支援する。

＜事業内容＞

- ・現地地方自治体向け訪日研修への協力
- ・日本国及び現地政府とのワークショップ出席
- ・現地関係各所訪問及び視察 など

【事業スケジュール】

対象地域:インドネシア・ジャカルタ特別州
 訪日予定:平成30年11月
 派遣予定:平成30年8月・平成31年2月
 経費:1,094千円

包括的協力プログラム事業収入:1,094千円

③ 東京都及び(公財)東京都環境公社連携事業

＜目的・ねらい＞

マレーシアでの廃棄物処理の課題に対し、東京都及び(公財)東京都環境公社と連携し、課題解決に向けて幅広い支援等を行う。

＜事業内容＞

- ・ワークショップ、意見交換会等の実施
- ・訪日研修の実施
- ・現地施設視察 など

【事業スケジュール】

対象地域:マレーシア
 訪日予定:平成30年6月
 派遣予定:平成30年9月
 経費:635千円



【平成29年度インド・テランガナ州政府との意見交換会】

1 循環型社会づくりの一翼を担う清掃一組

2 安全で安定的な運営を行う清掃一組

3 効率的でスリムな経営を行う清掃一組

4 23区との連携を旨とする清掃一組

● 《取組項目》 適正な維持管理の継続

【発電機、ボイラ設備の整備】

予算額 1,162,146千円

＜目的・ねらい＞

清掃工場を安全で安定的に稼働していくため、基幹設備である発電機やボイラについて整備を行う。発電機やボイラの故障は工場の運用停止につながるため、そのような状況を防ぐために適切な予防保全を進めていく。

＜事業内容＞

①発電機を安定的に稼働していくため、予防保全対策として絶縁性能が劣化している発電機の更新工事や発電機不具合の早期発見に向けたオンライン絶縁診断装置の設置等を行う。

※オンライン絶縁診断装置とは、発電機から発せられる部分放電の大きさや発生頻度を、運転しながら検知し発電機の異常を診断する装置。

◆発電機更新工事対象工場

千歳(平成30年度～31年度)

◆オンライン絶縁診断装置の設置等対象工場

豊島・板橋・品川

経費:164,700千円

②ボイラ設備の減肉等経年劣化が進んでいる工場を対象にボイラ水管抜管補修等工事を実施する。加えて、更なる予防保全の取組としてボイラ水管の広範囲な取替えなど大規模な補修工事を計画的に実施する。

※ボイラ設備の減肉とは、焼却炉内部で発生した排ガスの影響により、ボイラ水管の外側から配管壁の厚みが薄くなる現象のこと。

◆ボイラ補修対象工場

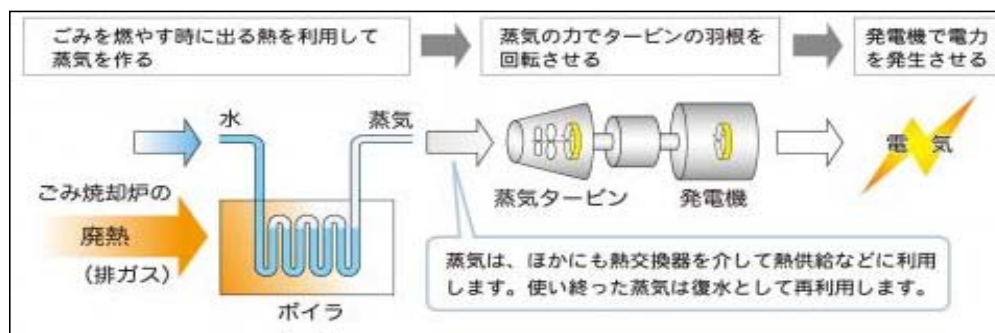
有明・墨田・北・新江東・豊島・中央・板橋・多摩川・品川・葛飾

◆ボイラ大規模補修対象工場

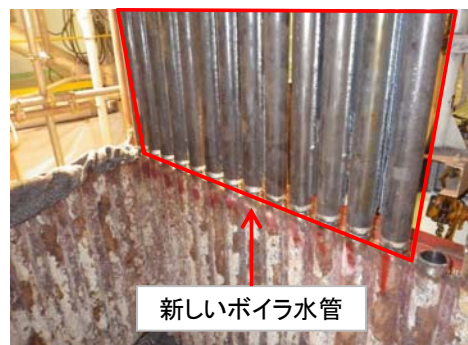
渋谷(平成29年度～31年度)

経費:997,446千円

【発電機・ボイラ設備の役割】



【ボイラ水管の様子】



目標 2 安全で安定的な運営を行う清掃一組
～大都市における中間処理施設の運営を安全かつ安定的に行います～

● 《取組項目》計画的な施設整備の推進(建替え)

【清掃工場の建替え】

予算額 11,576,009 千円

＜目的・ねらい＞

一般廃棄物処理基本計画に基づき、計画的に清掃工場の施設整備を行うことにより、将来にわたって安全で安定的なごみ処理が可能となる。

＜事業内容＞

- ①光が丘清掃工場(3年目) 5,279,771千円 (施設整備期間経費見込 35,039,240千円)

これまで実施してきた解体工事を完了させ、建設工事に着手する。併せて工事監理及び環境影響事後調査等を実施する。



【施設整備期間】 平成28年度～32年度(5年間)

【規模(炉・基数)】 150t/日・炉×2基

- ②目黒清掃工場(2年目) 6,296,238千円 (施設整備期間経費見込 52,244,038千円)

前年度から引き続き解体工事を実施し、併せて建設工事に着手する。また、実施設計及び工事監理を実施する。



【施設整備期間】 平成29年度～34年度(6年間)

【規模(炉・基数)】 300t/日・炉×2基

● 《取組項目》計画的な施設整備の推進(延命化対策)

【清掃工場の延命化】

予算額 2,226,254 千円

＜目的・ねらい＞

一般廃棄物処理基本計画に基づき、これまで定期点検補修工事期間に実施することが難しかった設備・機器及び建築物について、更新改修工事を行い、清掃工場を延命化する。

＜事業内容＞

- ①有明清掃工場(2年目) 2,226,254千円 (施設整備期間経費見込 4,301,787千円)

平成47年頃(計画耐用年数:40年)まで安定的に稼働させるため、ろ過式集じん器等のプラント設備更新、外壁その他改修及びサブステーション受変電設備更新等の延命化工事を実施する。

【施設整備期間】 平成29年度～31年度(3年間)

【規模(炉・基数)】 200t/日・炉×2基

1 循環型社会づくりの一翼を担う清掃一組

2 安全で安定的な運営を行う清掃一組

3 効率的でスリムな経営を行う清掃一組

4 23区との緊密な連携を旨とする清掃一組

目標3 効率的でスリムな経営を行う清掃一組
 ～効率的・効果的な運営により、23区の負担の抑制と平準化を図ります～

● 《取組項目》売電収入等の安定的確保

【電力エネルギー売払収入】

予算額 9,415,181千円

<目的・ねらい>

ごみ焼却により発生する熱エネルギーを発電や熱供給に有効利用し、それらを清掃工場の稼働に活用したうえで、余った電気を電気事業者へ売却することで、収入を確保する。

<事業内容>

工場建替え時に発電効率を高め、収入確保に努めるとともに、東京エコサービス(株)と連携した電力売却により、収益の増加を図る。

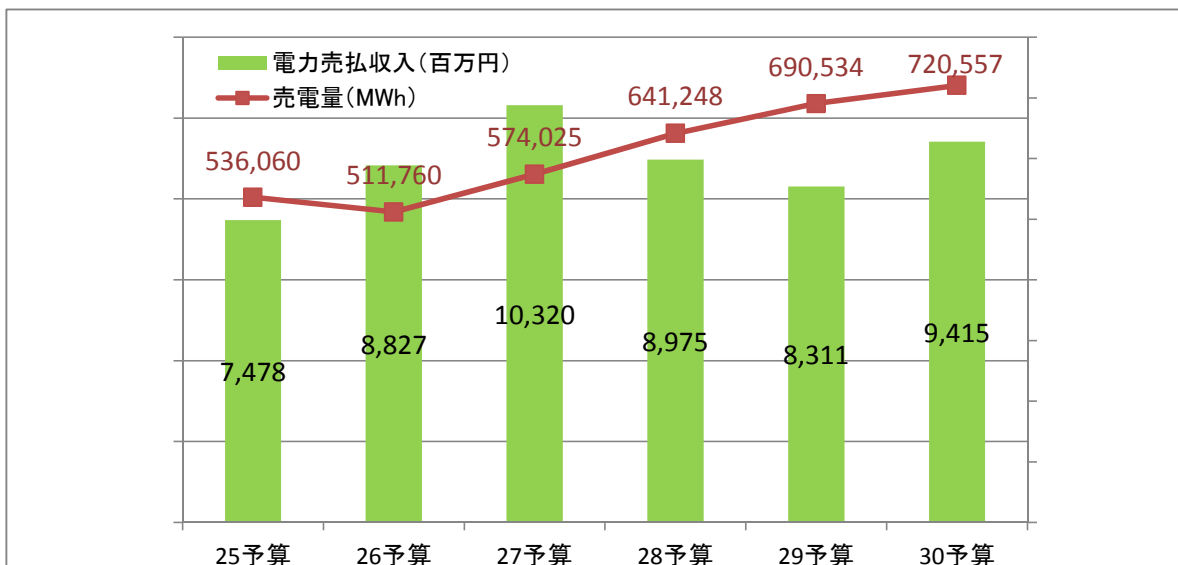
【収入内訳】

新江東外18清掃工場の余剰電力の売払収入 94億1,500万円(対前年度11億400万円の増)

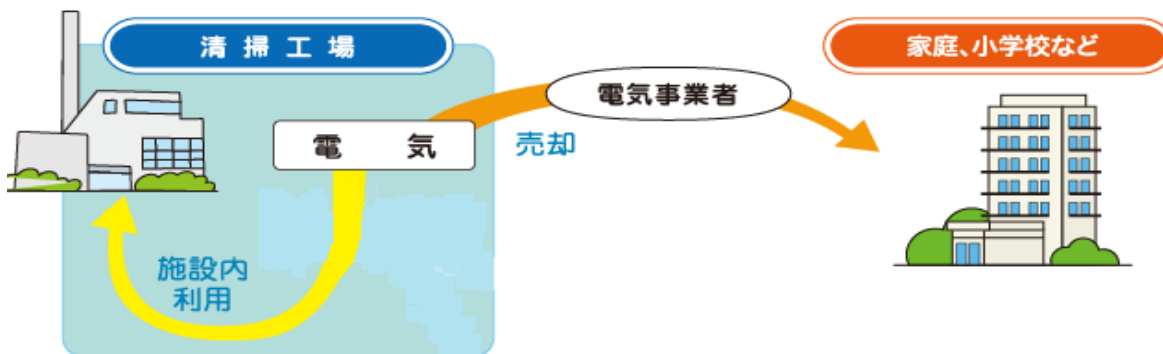
主な増減理由

- ・杉並清掃工場の通年稼働による増 3億5,000万円
- ・大田、練馬清掃工場の実績による増 2億8,000万円
- ・江戸川、墨田、北清掃工場のFIT調達期間終了による減 ▲1億1,000万円
- ・その他実績に基づく設計単価の見直しによる増 6億2,000万円

【売払収入額と売電量の推移(予算ベース)】



【熱エネルギーの有効利用】



1 循環型社会づくりの組

2 安全で安定的な運営を行う清掃一組

3 効率的でスリムな経営を行う清掃一組

4 23区との緊密な連携を目指す清掃一組

目標4 23区との緊密な連携を目指す清掃一組
～23区と連携し、区民に親しまれる事業運営に努めます～

●《取組項目》不適正搬入の防止

【清掃工場不適正搬入防止啓発用映像の制作】

予算額 2,549千円

＜目的・ねらい＞

23区と連携し、清掃工場不適正搬入防止啓発用映像を活用・周知することで、不適正搬入防止を図る。

＜事業内容＞

清掃工場の受入基準を満たさない不適正ごみを具体的に例示し、併せて受入れできない理由についても、区民等にわかりやすい映像を制作する。さらに、外国の方にも理解できるように、ナレーションに極力頼らずともイメージしやすい構成とする。

また、この啓発映像を清掃一組ホームページに掲載するとともに、各区の啓発事業にも活用できるよう、23区との連携を図っていく。

【作成映像概略】

タイトル「困っています 清掃工場(仮称)」

清掃工場では処理できない不適正ごみを具体的に例示し、また、処理できない理由も説明することで、不適正ごみが清掃工場に与える影響とともに、ごみ処理について区民等に問題意識を持ってもらえるような内容とする。

不適正ごみの事例



焼却炉に入ると...



【清掃工場の焼却設備に詰まった金属類】

【清掃工場の搬入物検査で見つかった金属類】

区職員参加の搬入物検査の様子



【不適正搬入防止月間中の一斉搬入物検査】
(オレンジの安全ベストが区職員)

10月と2月に実施する不適正搬入防止月間では、全工場で同一日に搬入物検査を実施しているが、各区職員も搬入物検査に参加し、清掃工場への搬入状況を確認している。

1 循環型社会づくりの組

2 安全で安定的な清掃一組

3 効率的でスリムな組

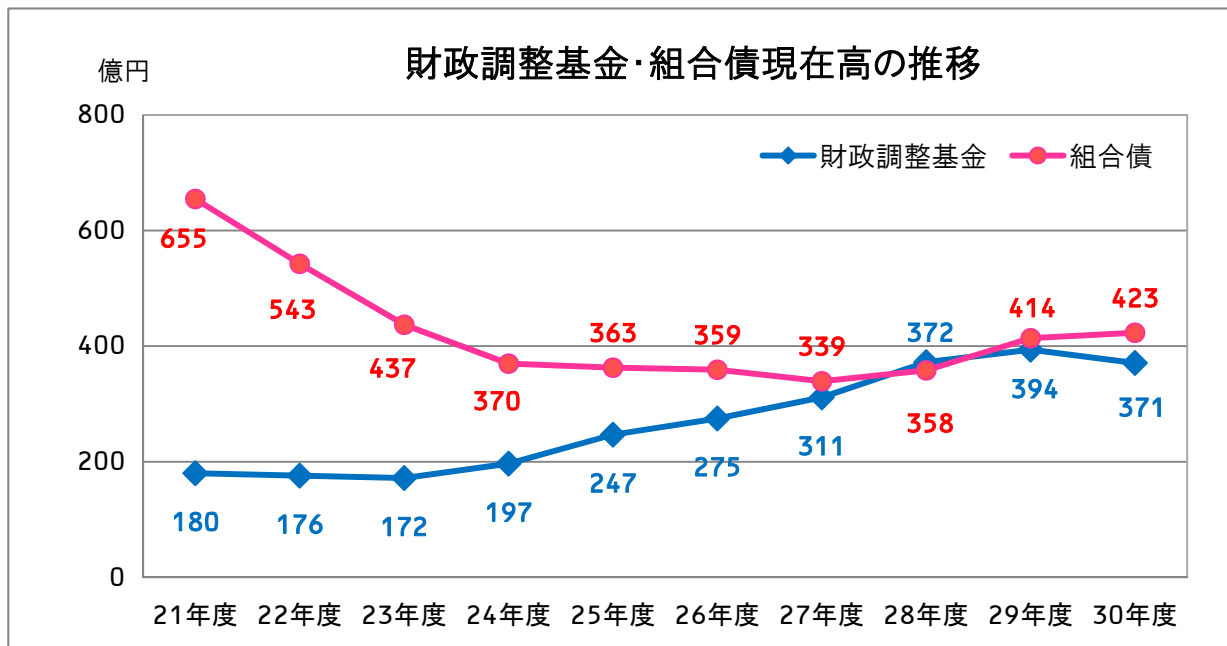
4 23区との緊密な連携を目指す清掃一組

4 施設整備事業一覧

(単位：千円)

区 分	整 備 内 容	事 業 費
清掃工場の建設	一般廃棄物処理基本計画に基づき、清掃工場の建替え等を行います。	11,746,476
渋谷清掃工場	買収済建物の解体工事等	88,957
杉並清掃工場	環境影響事後調査委託	8,226
光が丘清掃工場	建替工事等	5,279,771
目黒清掃工場	建替工事等	6,296,238
江戸川清掃工場	建替工事発注仕様書作成調査委託等	28,707
北清掃工場	環境影響評価書案作成委託	44,577
清掃工場の延命化	一般廃棄物処理基本計画に基づき、清掃工場の延命化工事を行います。	2,246,919
有明清掃工場	焼却設備外更新工事等	2,226,254
港清掃工場	ボイラ詳細点検委託等	20,665
清掃工場の施設整備	既設清掃工場の改修等を行い、機能の維持、向上を図ります。	2,677,819
公害監視設備整備	新江東、中央清掃工場等	254,530
建築設備等整備	新江東、中央清掃工場等	279,900
その他設備整備	足立、板橋清掃工場等	2,143,389
不燃・粗大ごみ処理施設の建設	一般廃棄物処理基本計画に基づき、環境影響評価調査計画書作成委託を行います。	7,095
中防不燃・粗大ごみ処理施設	環境影響評価調査計画書作成委託	7,095

5 財政調整基金と組合債の状況



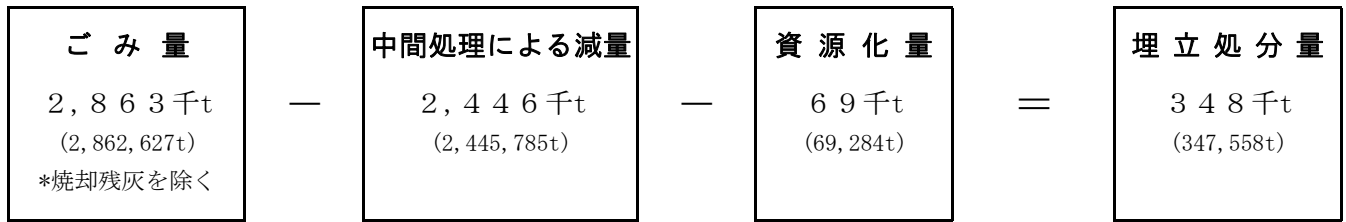
(単位: 百万円)

財政調整基金	年 度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	繰 入 額	7,200	11,200	11,450	8,870	6,230
	積 立 額	9,856	10,771	11,032	11,368	11,256
	年度末現在高	18,015	17,586	17,168	19,666	24,692
	年 度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	繰 入 額	10,390	3,000	1,866	4,898	7,300
	積 立 額	13,189	6,634	7,972	7,057	5,000
年度末現在高	27,491	31,125	37,231	39,390	37,090	
組 合 債	年 度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	起 債 額	0	1,390	602	3,682	7,214
	償 還 元 金	11,701	12,603	11,132	10,426	7,898
	償 還 利 子	981	846	720	600	502
	年度末現在高	65,465	54,252	43,722	36,978	36,294
	年 度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	起 債 額	6,926	3,978	5,098	8,357	4,298
	償 還 元 金	7,305	5,950	3,226	2,798	3,354
	償 還 利 子	437	377	305	269	294
	年度末現在高	35,915	33,943	35,815	41,374	42,318

注1) 28年度までは決算額、29年度は補正予算額、30年度は見込額

2) 計数は、原則として表示単位未満を四捨五入し、端数整理をしていないため、合計額などとは一致しない場合があります。

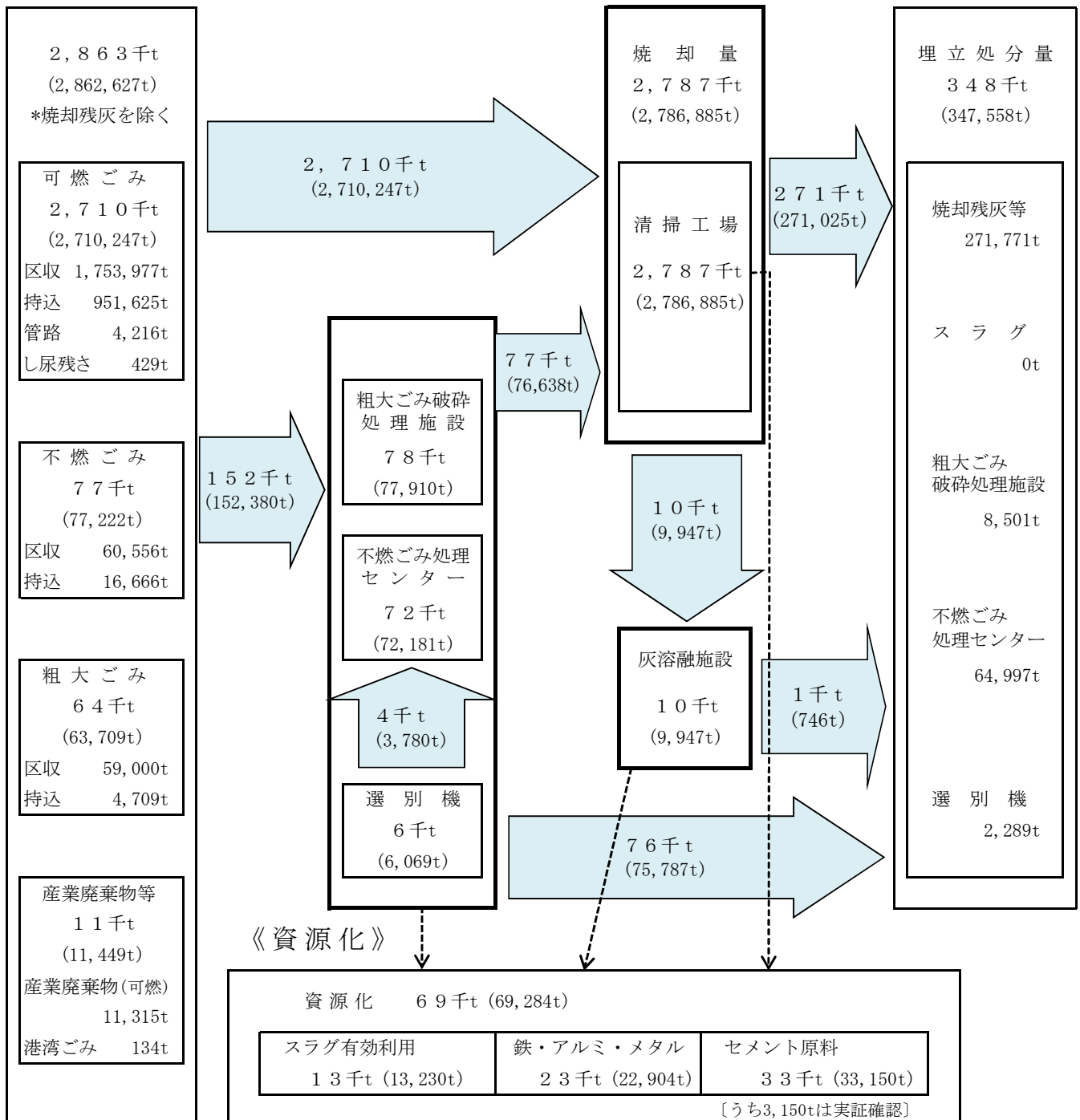
6 ごみの流れ（予算編成時の集計年量による）



《 搬入 》

《 中間処理 》

《最終処分》



注1) 上記のごみ量は、予算編成時の集計量であり、23区の告示ごみ量とは一致しません。
 注2) 小数点以下の端数処理、千t単位の端数処理により合計が合わない場合があります。

7 特別区分担金納付額等

当初額算定

【23区ごみ量実績】 (A)	2,752,222.06 t	【区収集ごみ量相当分担金】	
28年度 区収集ごみ量23区計	1,788,207.90 t	(G) = (D) × (B)	30,995,314千円
区収集ごみ量割合 (B)	64.973%	【持込ごみ量相当分担金基礎額】	
28年度 持込ごみ量23区計	964,014.16 t	(H) = (D) × (C)	16,709,601千円
持込ごみ量割合 (C)	35.027%	【持込ごみ量相当分担金】	
【分担金算出基礎額】 (D)	47,704,915千円	(I) = (H) - (F)	1,654,686千円
30年度 分担金23区計(E)【予算額】	32,650,000千円		
30年度 手数料収入計 (F)【予算額】	15,054,915千円		
【区別持込ごみ量】	963,930.05 t		

(単位：千円)

区分 区名	本来の分担金									清掃負担の公平 各区の負担の調整額 j	負担の公平調整後 平成30年度 区別分担金 実納付額 k=i+j
	区収集ごみ量相当分			持込ごみ量相当分			分担金納付額				
	区収集ごみ量 (トン) a	割合 b	区収集相当分 当初額 c = (G×b)	持込ごみ量 (トン) d	割合 e	持込相当分 当初額 f = (I×e)	平成30年度 区別分担金 当初額計 g = (c+f)	平成28年度 区別分担金 清算額 h	平成30年度 区別分担金 納付額 i = (g+h)		
千代田	15,936.41	0.891%	276,168	70,005.85	7.263%	120,180	396,348	23,243	419,591	36,882	456,473
中央	35,142.75	1.965%	609,058	73,724.88	7.648%	126,550	735,608	40,688	776,296	△ 12,750	763,546
港	52,467.04	2.934%	909,402	102,558.72	10.640%	176,059	1,085,461	41,914	1,127,375	△ 23,009	1,104,366
新宿	71,463.89	3.996%	1,238,573	82,432.72	8.552%	141,509	1,380,082	23,510	1,403,592	65,047	1,468,639
文京	42,775.77	2.392%	741,408	23,170.90	2.404%	39,779	781,187	6,961	788,148	27,562	815,710
台東	43,140.49	2.413%	747,917	35,120.84	3.643%	60,280	808,197	△ 7,169	801,028	32,509	833,537
墨田	54,240.61	3.033%	940,088	23,411.63	2.429%	40,192	980,280	7,985	988,265	△ 21,689	966,576
江東	91,156.35	5.098%	1,580,141	44,407.95	4.607%	76,231	1,656,372	△ 49,899	1,606,473	△ 217,118	1,389,355
品川	71,402.27	3.993%	1,237,643	36,415.09	3.778%	62,514	1,300,157	16,574	1,316,731	△ 15,804	1,300,927
目黒	52,705.13	2.947%	913,432	20,433.28	2.120%	35,079	948,511	△ 4,009	944,502	△ 10,894	933,608
大田	132,297.75	7.398%	2,293,033	63,964.26	6.636%	109,805	2,402,838	4,320	2,407,158	△ 7,489	2,399,669
世田谷	173,368.38	9.695%	3,004,996	43,993.21	4.564%	75,520	3,080,516	△ 8,484	3,072,032	1,885	3,073,917
渋谷	51,382.39	2.873%	890,495	68,447.64	7.101%	117,499	1,007,994	14,573	1,022,567	29,503	1,052,070
中野	58,653.73	3.280%	1,016,646	15,364.46	1.594%	26,376	1,043,022	△ 11,108	1,031,914	30,594	1,062,508
杉並	96,630.47	5.404%	1,674,987	25,407.22	2.636%	43,618	1,718,605	△ 18,705	1,699,900	29,410	1,729,310
豊島	56,395.20	3.154%	977,592	41,193.30	4.273%	70,705	1,048,297	9,863	1,058,160	6,453	1,064,613
北	65,265.83	3.650%	1,131,329	18,396.24	1.908%	31,571	1,162,900	△ 16,943	1,145,957	△ 14,874	1,131,083
荒川	43,210.81	2.417%	749,157	10,961.62	1.137%	18,814	767,971	△ 11,127	756,844	22,377	779,221
板橋	107,079.13	5.988%	1,855,999	30,588.35	3.173%	52,503	1,908,502	△ 18,219	1,890,283	8,247	1,898,530
練馬	128,390.76	7.180%	2,225,464	28,074.69	2.912%	48,185	2,273,649	△ 31,880	2,241,769	6,945	2,248,714
足立	131,808.49	7.371%	2,284,665	42,964.25	4.457%	73,749	2,358,414	△ 6,886	2,351,528	13,333	2,364,861
葛飾	84,839.37	4.744%	1,470,418	24,096.02	2.500%	41,367	1,511,785	5,643	1,517,428	△ 3,712	1,513,716
江戸川	128,454.88	7.184%	2,226,703	38,796.93	4.025%	66,601	2,293,304	△ 10,845	2,282,459	16,592	2,299,051
合計	1,788,207.90	100.000%	30,995,314	963,930.05	100.000%	1,654,686	32,650,000	0	32,650,000	0	32,650,000